

公益財団法人日本郵趣協会

2017年度事業計画

【基本となる考え方】

日本及び世界各国の郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究—これを「郵趣」という。

「郵趣」を通して、郵便切手文化の向上発展に資する、そして、それを未来に継承する。

もって心豊かな潤いのある社会創造に寄与する。

この目的を実現するため、2011年の公益財団法人化から今日まで、積極的にさまざまな事業に取り組んできた。この基本的な姿勢は不変である。

とりわけ本年度は、社会一般に切手への関心が低くなり会員減少が続く厳しい状況を打破するため、会員増強協議会をさらに強固な組織にして、春と秋に「展覧会来場者促進&入会キャンペーン」を展開する。また前年度に続いて個々の事業の点検・見直しを行い、各事業が互いに相乗効果が挙げられる展開を図り、効果的な事業支出、収入財源の確保・拡大に努めて財政基盤の安定化を図る。

普及啓発事業では、郵趣入門ガイドの続編作成、切手オリエンテーションを通じて、新しい切手収集家の発掘を図る。また、フェイスブック、ツイッターなどSNSを活用した情報公開に努めるとともに、結びつきを図る全国郵趣大会2017を9月にさいたま市で開催する。

展覧会事業では、初歩者からアドバンスト・コレクターまで誰でもが参加できる活動を広げていくため、4月のスタンプショウ2017に「日本切手フリースタイル・コンテスト」を新設する。自由な発想で作品をまとめ、多くの人たちが楽しみながら知ることのできる新しい形の展覧会を目指す。11月の第52回全国切手展JAPEX2017は、「船と郵便」「北欧切手展」を企画し、コレクションの内容を競う我が国で最も権威と歴史のあるコンペティションとして開催する。

出版事業では、『日本普通切手専門カタログ』第2巻戦後・ステーションナリー編を刊行、第3巻郵便史・郵便印編の刊行準備を進める。『郵趣』は切手を楽しむ雑誌、『郵趣研究』は専門誌としての役割分担を明確にして、それぞれ郵趣の魅力、素晴らしさを伝える誌面作りを行う。

学術調査研究事業では、専門分野ごとに研究会を設置して研究発表会(ミニペックス)を12回開催する。その成果は、『郵趣研究』への事例発表や郵趣カンファレンスを通じて広く公開していくことを目指し、本年度はその施行期間と位置付ける。

国際文化交流事業では、国際切手展、アジア国際切手展への出品、ブース出展を通じて国際文化交流を図るとともに、日本・デンマーク外交関係樹立150周年及び日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念事業を成功させる。

流通促進事業では、切手の博物館等と連携して精密偽造郵趣品の不正流通の防止に努める。また、JPSオークションを通じて文化的・歴史的資料を拡散・劣化させることなく次世代へ着実に継承していくとともに、財政の安定化に資する。

顕彰事業では、会員増強表彰、登録支部特別表彰を新たに実施する。

社会貢献・地域支援事業では、「手紙を書こう！プロジェクト」を中心にパートナー企業・団体との協働プロジェクトを推進していくため、パートナーシップ委員会を新設する。またボランティアの醸成を図るため、郵趣のための押印講習会などを継続的に実施し、押印技能認定書を発行する。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年の日本郵便創業150周年を当面の目標に、さらなる郵趣の継承・発展を目指し、6月に任期満了を迎え新たに選出される理事を先頭に、各地方本部、委員会の体制をより強固なものにして、各事業活動に全力を挙げて取り組む。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出していく。また、郵便切手文化を次世代に継承していくため、質の高い情報を積極的に提供するとともに、幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施する。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を開催する。実施テーマにあたっては、地域特性を生かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努める。

(2) 展覧会来場者促進キャンペーン

登録支部・団体やサポート・パートナー企業・団体との協働・連携の下、全国規模の展覧会への来場者促進キャンペーンを実施する。キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したチケット等の作成・配布、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図る。

① スタンプショウ2017来場者促進キャンペーン

実施期間：2017年2月21日(火)～4月20日(木)

② JAPEX2017来場者促進キャンペーン

実施期間：2017年8月1日(火)～11月2日(木)

③ スタンプショウ2018来場者促進キャンペーン

実施期間：2018年2月20日(火)～4月19日(木)[予定]

(3) 郵趣入門ガイド

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方等についてわかりやすく解説した郵趣入門ガイドとして、2017年度は「日本切手で始めるスタートガイド(仮称)」「知って得する切手入手法(仮称)」等を制作する。郵趣入門ガイドの普及・利用拡大を図るため、全国各地の展覧会における無償配布、郵趣入門ガイドを活用した普及啓発活動を展開する。

(4) 切手オリエンテーション

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる切手オリエンテーションを開催する。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定し、参加プログラムを通して様々なアドバイスを提供していく。

① 切手オリエンテーション「郵趣入門コース」

広く一般を対象にして、全6回のカリキュラムで「郵趣入門コース」を実施し、受講完了者には修了書を授与する。切手オリエンテーションは切手の博物館(豊島区)で開催し、最終回はスタンプショウ2018の展覧会会場で実施する。(講座テーマ及び開催日は予定)

[第1回] 講座テーマ「切手など郵趣品の話」、開催日：6月17日(土)

[第2回] 講座テーマ「切手など郵趣品の集め方と整理の仕方」、開催日：9月16日(土)

[第3回] 講座テーマ「マイリーフ作成ガイド」、開催日：11月18日(土)

[第4回] 講座テーマ「マイリーフ作成実習」、開催日：2018年1月20日(土)

[第5回] 講座テーマ「アルバムリーフ作成」、開催日：2018年3月17日(土)

[第6回] 講座テーマ「アルバムリーフ展示」、開催日：2018年4月21日(土)[予定]

②こども切手オリエンテーション

幼児及び小学生児童を対象にして、郵便切手に関する基礎知識から実際に切手を見て触れてみる体験を通して、郵便切手への興味から趣味へ進める場として学んでもらう。こども切手オリエンテーションは、第3回〔会場：雑司が谷地域文化創造館(豊島区)〕以外、切手の博物館(豊島区)で開催する。(内容及び開催日は予定)

〔第1回〕 内容：切手の歴史と切手宝探し、開催日：5月13日(土)

〔第2回〕 内容：「ゆうびんde自由研究」の作品作りのヒント、アドバイス講座、開催日：6月17日(土)

〔第3回〕 内容：切手で遊ぼう、手紙を書いてみよう1、開催日：8月24日(木)～8月27日(日)

〔第4回〕 内容：手紙を書いてみよう2(年賀状・クリスマスカード)、開催日：12月9日(土)

〔第5回〕 内容：手紙を書いてみよう3、開催日：2018年3月24日(土)

(5) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な図書を広く図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが郵便切手文化の学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の発展に寄与する。

(6) WEBサイト及びSNSの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、最新の切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する情報をホームページにおいて適時掲載し、広く社会一般に公開、提供していく。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信にも努める。さらに、公式フェイスブック「kitte」、公式ツイッター「kitte club」等のSNSを活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図る。

(7) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催する。併せて、郵便切手文化の普及啓発並びに学術調査研究に貢献した功労者の顕彰、文化シンポジウム等の企画イベントを実施するとともに、交流と親睦を深める記念レセプションを開催する。

①全国郵趣大会2017inさいたま(第35回)〔併設：関東郵趣大会2017inさいたま〕

会期：9月2日(土)～9月3日(日)、会場：ラフレさいたま(さいたま市)、後援：日本郵便(株)関東支社
〔予定〕

②全国郵趣大会2018in島原(第36回)〔準備作業〕

会期：2018年9月8日(土)～9月9日(日)、会場：南風楼(長崎県島原市)、後援：日本郵便(株)九州支社、
(一社)長崎県観光連盟〔以上予定〕

(8) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催する。

①福山・切手のつどい2017

会期：4月16日(日)、会場：まなびの館ローズコム(広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部

②新潟県郵趣の集い2017in三条(第23回)

会期：6月11日(日)、会場：三条厚生福祉会館(新潟県三条市)、主催：中部地方本部、新潟県央支部

③静岡県郵趣の集い2017in浜松

会期：6月24日(土)～6月25日(日)、会場：はまきたプラザホテル(静岡県浜松市)、主催：中部地方本

部、浜松支部

④岡山切手のつどい2017

会期：6月25日(日)、会場：岡山国際交流会館(岡山市)、主催：中国・四国地方本部、岡山支部

⑤筑後地方切手のつどい2017(第19回)

会期：7月23日(日)、会場：小郡市生涯学習センター「七夕ホール」(福岡県小郡市)、主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑥防府切手のつどい・夏2017

会期：8月6日(日)、会場：JA防府とくち会館(山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑦広島切手のフリーマーケット2017(第16回)

会期：10月22日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

⑧防府切手のつどい2018

会期：2018年1月28日(日)、会場：JA防府とくち会館(山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑨北九州切手のつどい2018

会期：2018年2月18日(日)[予定]、会場：アジア太平洋インポートマート[AIMビル](福岡県北九州市)、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援：日本郵便(株)北九州中央郵便局、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会[以上予定]

⑩広島切手のつどい2018

会期：2018年2月25日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催する。郵便切手文化の独自性と継承性を確立することで、出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を実施企画することによりPR効果を高め、集客の増加を図る。また、積極的に企業・団体との協働プロジェクトを推進していき、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応える。

(1) 全国規模の展覧会

①スタンプショウ2017(第41回)

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画展示「切手でみる ベルサイユのばら」、「ご当地フォルムカード展」の開催、日本切手フリースタイル・コンテスト2017[新設]、第18回トピカル切手展の作品を公募する。また、サポート・パートナー企業と協働して、企画イベントの実施、広報の周知を図る。

開催テーマ：「切手が誘う 夢をいっしょに!」、会期：4月21日(金)～4月23日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、カシオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)八丁幸、富士急行(株)、(株)不二家、ポスタルスクウェア(株)、(一社)笑い文字普及協会、協力：切手の博物館、郵政博物館、(有)池田理代子プロダクション[以上予定]

②スタンプショウ2018(第42回)[準備作業]

広く一般の方々に郵便切手文化を身近なものとして楽しんでもらえるように開催テーマを設定し、企画展示及び企画イベントの実施計画について運営準備を進めていくとともに、協力いただける企業・

団体の協賛を募る。

会期：2018年4月20日(金)～4月22日(日)[予定]、会場：会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)[予定]、協賛：日本郵便(株)他[予定]、協力：切手の博物館、郵政博物館[以上予定]

③第52回全国切手展(略称:JAPEX2017)

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「船と郵便」、「北欧切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募する。本展覧会において金銀賞以上の賞を受賞した作品には、国際郵趣連盟(FIP)主催の国際切手展への出品資格が付与される。併せて、公式ガイドブック、コレクション集CD及び記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開する。

開催テーマ：「伝えよう『郵趣』の魅力を!」、会期：11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館、フィンランド大使館、ノルウェー王国大使館[以上予定]、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)日本郵趣出版、富士急行(株)[以上予定]、協力：(公財)通信文化協会[予定]

④第53回全国切手展(略称:JAPEX2018)[準備作業]

郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させていくため、企画出品及び文化シンポジウムの実施計画について運営準備を進めていく。

会期：2018年11月2日(金)～11月4日(日)[予定]、会場：会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)[予定]、協賛：日本郵便(株)他[予定]、協力：(公財)通信文化協会[予定]

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2017(第8回)

会期：4月28日(金)～4月29日(土・祝)、会場：アイパル香川(香川県高松市)、主催：中国・四国地方本部、高松支部

②第8回楽しい切手展in横浜

会期：5月21日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、主催：関東地方本部、横浜支部、湘南郵趣の会、相模原支部、後援：日本郵便(株)南関東支社、神奈川新聞社[以上予定]

③スタンプショウくだまつ2017

会期：5月27日(土)～5月28日(日)、会場：スターピア下松(山口県下松市)、主催：中国・四国地方本部、周南支部、後援：日本郵便(株)中国支社、みなと山口合同新聞社[以上予定]

④スタンプショウ=ヒロシマ2017(第34回)

会期：6月10日(土)～6月11日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウ=ヒロシマ組織委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、日本郵便(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社[以上予定]

⑤大阪切手まつり2017(第19回)

会期：7月17日(月・祝)、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、主催：関西地方本部

⑥スタンプショウふくやま2017(第38回)

会期：8月[予定]、会場：まなびの館ローズコム(広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部、後援：日本郵便(株)中国支社、中国新聞社[以上予定]

⑦彩PEX2017(第18回)

会期：9月[予定]、会場：アートギャラリー呼友館(埼玉県川越市)、主催：関東地方本部、川越支部、後援：日本郵便(株)川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉県郵趣連合[以上予定]

⑧スタンプショウかごしま2017(第20回)

会期：9月30日(土)～10月1日(日)、会場：サンプラザ天文館(鹿児島市)、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援：日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売TV、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム[以上予定]

⑨中部スタンプショウ2017in長岡(第16回)

会期：10月7日(土)～10月8日(日)、会場：パストラル長岡(長岡市)、主催：中部地方本部、長岡支部、後援：日本郵便(株)信越支社、長岡郵便局[以上予定]

⑩大阪秋の切手展2017(第4回)

会期：10月7日(土)～10月8日(日)、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社[以上予定]

⑪スタンプショウはかた2017(第28回)

会期：10月14日(土)～10月15日(日)、会場：TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部、スタンプショウはかた2017実行委員会、後援：日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社[以上予定]

⑫スタンプショウこうち2017(第22回切手のおまつり)

会期：10月[予定]、会場：イオンモール高知専門店街「イオンホール」(高知市)[予定]、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウこうち2017実行委員会、後援：日本郵便(株)高知中央郵便局、NHK高知放送局、RKC高知放送、高知新聞社、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ[以上予定]

⑬関西スタンプショウ2018(第31回)

会期：2018年3月10日(土)～3月11日(日)、会場：大阪マーチャングッズ・マートビル[OMMビル](大阪市)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社、関西郵趣連盟[以上予定]

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、あらゆる機会を活用した周知活動を行うとともに、出品公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後に出品者への助言の機会を設ける。

①日本切手フリースタイル・コンテスト、トピカル切手展の応募要項・出品申込書の作成・配布

②JAPEX2017ルールブックの作成・配布

③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

④審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)の実施

⑤応募作品のデータベース化

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を設けて国内審査員の育成を図る。また、国際切手展報告会を開催し、世界の展覧会の潮流と審査の状況を有資格者と共有し、審査技術の向上と平準化を図る。

(5) 展示備品の整備及び購入

展覧会を安定的に開催して郵便切手文化の振興を図るため、所有する展示フレーム及び展示什器の補修

整備を進めるとともに、展示フレームの新整備計画を策定して購入する。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行する。

(1) 書籍及び研究報告書

- ① 郵趣モノグラフ及び郵趣モノグラフCD
- ② 『第52回全国切手展JAPEX2017コレクション集CD』(12月刊行予定)
- ③ JAPEX2017記念出版『船と郵便(仮称)』(2018年3月刊行予定)
- ④ 専門書籍及び研究報告書

(2) 定期刊行物

- ① 切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行
- ② 週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行
- ③ 郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行
- ④ インターネット版『世界新切手ニュース』月刊/12回配信
- ⑤ インターネット版『郵趣ウィークリー』週刊/50回配信

(3) 切手カタログ

- ① 『さくら日本切手カタログ2018』(4月20日刊行)
- ② 『テーマ別日本切手カタログVol.3 芸術・文化編(仮称)』(7月刊行予定)
- ③ 『日本普通切手専門カタログVol.2 戦後・ステーションリー編(仮称)』(11月刊行予定)
- ④ 『日本普通切手専門カタログVol.3 郵便史・郵便印編(仮称)』[刊行準備作業]
- ⑤ 『新中国切手カタログ2018』(12月刊行予定)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会(ミニペックス)、文化シンポジウム等を開催し、知的情報の公開・周知を図る。

(1) 研究会

専門分野に関する学術調査研究の充実・発展を図る組織として、専門分野ごとの研究会(旧部会・例会)を設置する。また研究会相互の総合的な意見交換を行い、研究会の支援・強化を図る。

① 活動事例紹介

全国規模の展覧会において、誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、各研究会の活動事例紹介を実施する。

② 研究発表会(ミニペックス)

展覧会形式により、切手の博物館(豊島区)において各専門分野の学術調査研究成果を(ミニペックス)と称して広く一般に発表・公開する。[研究発表名は予定]

A. 第41回絵画切手研究会展

会期：5月26日(金)～5月28日(日)、研究発表：絵画切手研究会

B. 第32回昆虫切手展

会期：6月3日(土)～6月4日(日)、研究発表：昆虫切手研究会

C.2017イギリス切手展

会期：6月17日(土)～6月18日(日)、研究発表：イギリス切手研究会

D.アメリカ切手展2017<america'17>

会期：7月5日(水)～7月9日(日)、研究発表：アメリカ郵趣研究会

E.第8回世界の植物切手展

会期：7月13日(木)～7月16日(日)、研究発表：植物切手研究会

F.JPS航空郵趣研究会展2017 一航空切手発行100年記念一

会期：9月23日(土)～9月24日(日)、研究発表：航空郵趣研究会

G.JPS音楽切手研究会25周年記念 音楽切手展

会期：11月11日(土)～11月22日(日)、研究発表：音楽切手研究会

H.パソコン郵趣研究会展2018

会期：2018年1月12日(金)～1月14日(日)、研究発表：パソコン郵趣研究会

I.菊・田沢MINIPEX2018

会期：2018年1月19日(金)～1月21日(日)、研究発表：菊・田沢切手研究会

J.第13回中国郵票展

会期：2018年1月27日(土)～1月28日(日)、研究発表：日本郵趣協会・福井和雄理事長

K.第18回ドイツ切手展 Germania2018

会期：2018年3月2日(金)～3月4日(日)、研究発表：ドイツ切手研究会

L.第10回聴覚障害者切手クラブ切手展

会期：2018年3月10日(土)～3月11日(日)、研究発表：聴覚障害者切手クラブ

(2) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出する。

①会期：4月21日(金)～4月23日(日)、会場：スタンプショウ2017[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]

A. 講演会「風景印を訪ねて1万局(仮称)」(講師：佐滝剛弘氏) [予定]

B. 講演会「風景印アイデアお便り紹介します(仮称)」(講演：古沢保氏) [予定]

C. トークショー「切手趣味週間と国際文通週間(仮称)」(ゲスト：玉木明氏[切手デザイナー]) [予定]

②会期：9月2日(土)～9月3日(日)、会場：全国会員大会2017inさいたま[ラフレさいたま(さいたま市)]

③会期：11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場：第52回全国切手展JAPEX2017[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]

A. 講演会「世界鉄道夢紀行(仮称)」(講師：櫻井寛氏) [予定]

B. 講演会「テーマ別日本切手カタログ 芸術・文化編(仮称)」(講演：江村清氏) [予定]

C. トークショー「年賀切手と年賀葉書の魅力(仮称)」(ゲスト：貝渕純子氏[切手デザイナー]) [予定]

D. パネルディスカッション「日本普通切手専門カタログ 注目のポイント！(仮称)」 [予定]

(3) 先進学術事例の調査研究

各専門分野の先進学術事例の調査研究を行うとともに、この知見を相互に有効活用するため『郵趣研究(The Philatelic Studies)』への事例発表や郵趣カンファレンスを通して広く一般に公開する。また、研究発表会(ミニペックス)では、より深い研究成果報告会(ミニペックス作品解説)の同時開催を目指し、本年度をその試行期間と位置付ける。

(4) 展覧会助成

郵趣分野における研究の発展並びに普及啓発の観点から、社会的要請及び学術的に質の高い研究成果の発表・公開に対して、展覧会助成を実施する。[展覧会名は予定]

①第1回映画・演劇人の手紙展

会期：4月7日(金)～4月9日(日)、主催：玉木淳一氏

②第8回世界のクラシック切手展

会期：5月5日(金・祝)～5月7日(日)、主催：クラシック郵趣研究会

③第2回切手フェスタ

会期：6月23日(金)～6月25日(日)、主催：切手フェスタ実行委員会

④第3回武蔵野地区合同切手展

会期：9月29日(金)～10月1日(日)、主催：三鷹郵趣会、方寸会

⑤第14回震災切手と震災郵趣展

会期：10月13日(金)～10月14日(土)、主催：震災切手研究会

⑥なでしこ切手倶楽部展2017

会期：10月19日(木)～10月22日(日)、主催：なでしこ切手倶楽部

⑦東大切手研創立70周年記念切手展

会期：10月28日(土)～10月29日(日)、主催：東京大学切手研究会

⑧世界の郵便はがき展

会期：2018年3月25日(日)～3月28日(水)、主催：郵便ステーションナリー研究会

⑨第9回テーマティック出品者の会切手展

会期：2018年3月30日(金)～4月1日(日)、主催：テーマティック出品者の会

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進する。

(1) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の創造を推進する。

①国際切手展BANDUNG2017への出品

会期：8月3日(木)～8月7日(月)、会場：トランス・スタジオ・コンベンションセンター(インドネシア・バンドン)

②国際切手展BRASILIA 2017への出品

会期：10月24日(火)～10月29日(日)、会場：ウリセス・ギマランイス・コンベンションセンター(ブラジル・ブラジリア)

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

日本国としての参加が求められている国際切手展に日本郵政機関と協働してブース出展を行うとともに、海外郵政機関と協働して質の高い国際文化交流の活性化に努める。

①国際切手展BANDUNG2017へのブース出展

会期：8月3日(木)～8月7日(月)、会場：トランス・スタジオ・コンベンションセンター(インドネシア・バンドン)、日本の郵便切手文化紹介及び対日理解促進のために<JAPAN POST>(日本郵便)ブースの出展・運営を行い、記念押印サービス等を実施する。

②日本・デンマーク外交関係樹立150周年及び日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念事業
「北欧切手展(Northern Europe Stamp Exhibition)」

会期：11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館、フィンランド大使館、ノルウェー王国大使館
[以上予定]

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施する。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するためにさまざまな対策をとり、郵便事業に対する信認を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努める。

(2) 公開入札制度<JPSオークション>

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図る。

①第509回 開催日：4月22日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②第510回 開催日：7月1日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③第511回 開催日：9月12日(土)、メールオークション

④第512回 開催日：11月4日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

⑤第513回 開催日：2018年1月6日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

⑥第514回 開催日：2018年3月10日(土)、メールオークション

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図る。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考する。

①第38回中島健蔵・水原明窗記念賞

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

③第37回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

④第37回郵趣文献賞

⑤第34回小倉謙賞

⑥第32回住野正顕賞

⑦特別表彰(会員増強表彰、登録支部特別表彰)

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は『郵趣』及びホームページにおいて公開する。

①第38回中島健蔵・水原明窗記念賞は、記念すべき式典において受賞者を発表するとともに、授賞式及び記念講演会(記念展示)を公開で実施する。

②第37回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第37回郵趣文献賞は、全国郵趣大会2017inさいたまにおいて受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。

- ③第34回小倉謙賞及び第32回住野正顕賞は、第52回全国切手展JAPEX2017において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。
- ④特別表彰(会員増強表彰、登録支部特別表彰)は、全国郵趣大会2017inさいたまにおいて受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに「新しい公共」の担い手としての役割を推進していくため、パートナー企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行う。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組む。

(1)「手紙を書こう！プロジェクト2017」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指していく。そのため、日本郵便(株)をはじめとした多様なサポート企業・団体の協賛を得て実施する。

①ワークショップ「手紙を書いてみよう」

A.会期：4月21日(金)～4月23日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

B.会期：8月24日(木)～8月27日(日)、会場：雑司が谷地域文化創造館(豊島区)

C.会期：11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2017(第6回)

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親しんでもらうため、小学生児童を対象にして、郵便に必要な切手、消印を題材にした自由研究作品(切手部門、風景印部門)を公募する。文化・歴史・自然等について知識・研究を深めてもらうことで、郵便切手文化の普及を図るとともに、夏休みの自由課題として取り組んでもらえるように、周知に努める。

会期：8月24日(木)～8月27日(日)、会場：雑司が谷地域文化創造館(豊島区)、後援：文部科学省、豊島区教育委員会。(公社)日本PTA全国協議会、読売KODOMO新聞[以上予定]、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(一財)切手の博物館、カシオ計算機(株)、(株)ジャパン・ビバレッジ東京、(株)デザート、富士急行(株)、(株)不二家、ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ[以上予定]

※日本郵便(株)の年賀寄附金配分事業として実施[3月25日決定]

③Otegamiフリマ

フリーマーケット形式のイベントとして広く郵便切手雑貨関連のブース出展を募り。郵便切手文化の魅力を再発見してもらうため、「お手紙コーナー」、特設ポストの設置、郵便局臨時出張所による記念押印サービスを実施する。

A. Otegamiフリマ2017 SUMMERコレクション 会期：5月19日(金)～5月20日(土)

B. Otegamiフリマ2017 AUTUMNコレクション 会期：8月25日(金)～8月26日(土)

C. Otegamiフリマ2017 WINTERコレクション 会期：11月24日(金)～11月25日(土)

D. Otegamiフリマ2018 SPRINGコレクション 会期：2018年2月16日(金)～2月17日(土)

会場：いずれも切手の博物館(豊島区)、共催：(一財)切手の博物館、協賛：日本郵便(株)、リソー教育グループ[以上予定]

④タイムカプセル郵便(未来への手紙)

募集期間：4月1日(土)～2018年3月31日(土)

協賛：日本郵便(株)、(一財)切手の博物館、リソー教育グループ[以上予定]

⑤プチ・レトル[Petit Lettre] (愛の国際郵便)

募集期間：4月1日(土)～2018年3月31日(土)

協賛：日本郵便(株)、(一財)切手の博物館、リソー教育グループ[以上予定]、協力：フランス郵政、セント・ヴァレンタイン郵便局

(2) 登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体との連携を強め、各地域における自主的活動や特性を発揮しながら、効果的な事業が推進できるように支援する。

- ①地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成
- ②郵便切手文化活動への広報協力
- ③地域文化活動の活性化及び企画プログラムの提供

(3) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応える。

- ①日本郵便(株)切手デザイナーとの手紙振興プロジェクト
- ②分冊百科『世界の切手コレクション』(全185巻予定)の監修・刊行
- ③春及び秋の「メッセージフェスタ2017 in KITTE(仮称)」への参画
- ④青少年ペンフレンドクラブ(PFC)との周知連携

(4) ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めるとともにボランティア活動への市民参加の促進を図るため、体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進する。

- ①郵趣のための押印講習会(押印技能認定制度)
- ②展覧会運営ボランティアの公募

(5) 公益活動への支援

- ①切手バザール(年8回)[主催：(一財)切手の博物館]
- ②切手の博物館のクリスマス、会期：12月2日(土)～12月24日(日)、(一財)切手の博物館と共催
- ③愛の切手展2018、会期：2018年2月10日(土)～2月14日(水)、(一財)切手の博物館と共催
- ④第21回目白ロードレース[予定][主催：目白ロードレース実行委員会]

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協力していただける企業・団体の募集、多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形で寄付を募る。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当する。

- (1) サポート・パートナー企業・団体の募集
- (2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集
- (3) 財政安定化寄附金(一般寄附金)
- (4) スタンプショウ2017寄附金(特別寄附金)
- (5) JAPEX2017寄附金(特別寄附金)

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図る。

(1) 会員の維持・拡大

協会の事業内容の紹介活動を積極的に行うとともに、新規会員獲得に向けた活動を強化する。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供していく。

①春の入会キャンペーン、秋の入会キャンペーン（展覧会来場者促進キャンペーンと連携）

②WEB会員入会キャンペーン

③移籍のお願いキャンペーン（普通会员から正会員へ、正会員から維持会員への移籍）、会員在籍継続及び再入会ダイレクトメール、会費自動引き落としの利用拡大

④会員満足度アンケート調査、会員増強セミナーの開催

⑤『正会員会報』月刊／12回発行

⑥「郵趣手帳(Philatelic Diary)2018-2019」の作成

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進する。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図る。

(1) 新春交歓会

①大阪・新春交歓会2018

会期：2018年1月6日(土)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)

②東京・新春交歓会2018

会期：2018年1月13日(土) [予定]、会場：未定

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2017in仙台(第27回)

会期：6月10日(土)～6月11日(日)、会場：作並温泉・岩松旅館(仙台市)、主催：北海道・東北地方本部

②関東郵趣大会2017inさいたま(第33回) [併設：全国郵趣大会2017inさいたま]

会期：9月2日(土)～9月3日(日)、会場：ラフレさいたま(さいたま市)、主催：関東地方本部、後援：日本郵便(株)関東支社[予定]

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現する。